



2024年度第3四半期決算説明会

エーザイ株式会社
2025年2月7日

本日本話する内容

1. 業績アップデート

2. ビジネスアップデート

(1) レケンビ グローバルビジネスアップデート

a) グローバル・リージョン パフォーマンス

b) レギュラトリー状況

c) パスウェイの効率化に寄与する重要イベント

(2) オンコロジー

a) レンビマ グローバル・リージョン パフォーマンス、開発状況

b) オンコロジーパイプライン

2024年度第3四半期 連結業績 (IFRS)

**医薬品事業が引き続き順調に進捗
前年から増収・2桁増益で推移**

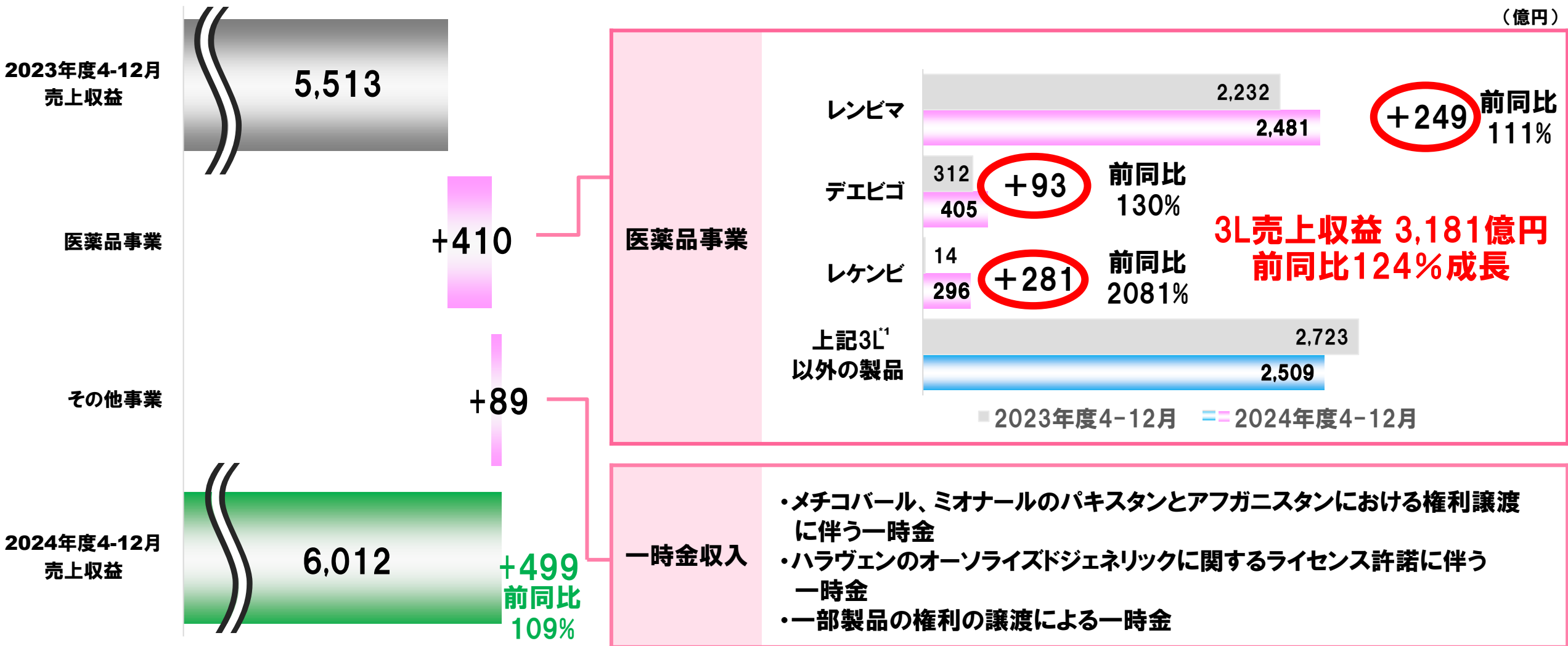
(億円、%)	2023年度4-12月		2024年度4-12月			為替の 影響額
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	
売上収益	5,513	100.0	6,012	100.0	109	242
医薬品事業 売上収益	5,281	95.8	5,691	94.7	108	226
その他事業 売上収益	232	4.2	321	5.3	138	
売上原価	1,192	21.6	1,282	21.3	108	
売上総利益	4,320	78.4	4,730	78.7	109	221
研究開発費	1,245	22.6	1,253	20.8	101	50
パートナー負担額を加味した研究開発費	1,703	30.9	1,642	27.3	96	
販売管理費	2,710	49.2	3,015	50.1	111	167
レンビマ利益折半費用	1,034	18.8	1,151	19.1	111	
その他の損益	10	0.2	92	1.5	904	
費用合計*1	3,945	71.6	4,176	69.5	106	208
営業利益	375	6.8	554	9.2	148	13
当期利益	308	5.6	475	7.9	154	
当期利益(親会社所有者帰属)	291	5.3	455	7.6	156	

2024年度第3四半期中平均レート 米ドル:152.56円(前期変動率+6.5%)、ユーロ:164.82円(同+6.1%)、英ポンド:195.43円(同+8.9%)、人民元:21.15円(同+5.9%)

*1 研究開発費+販売管理費-その他の損益

売上収益の増減要因分析

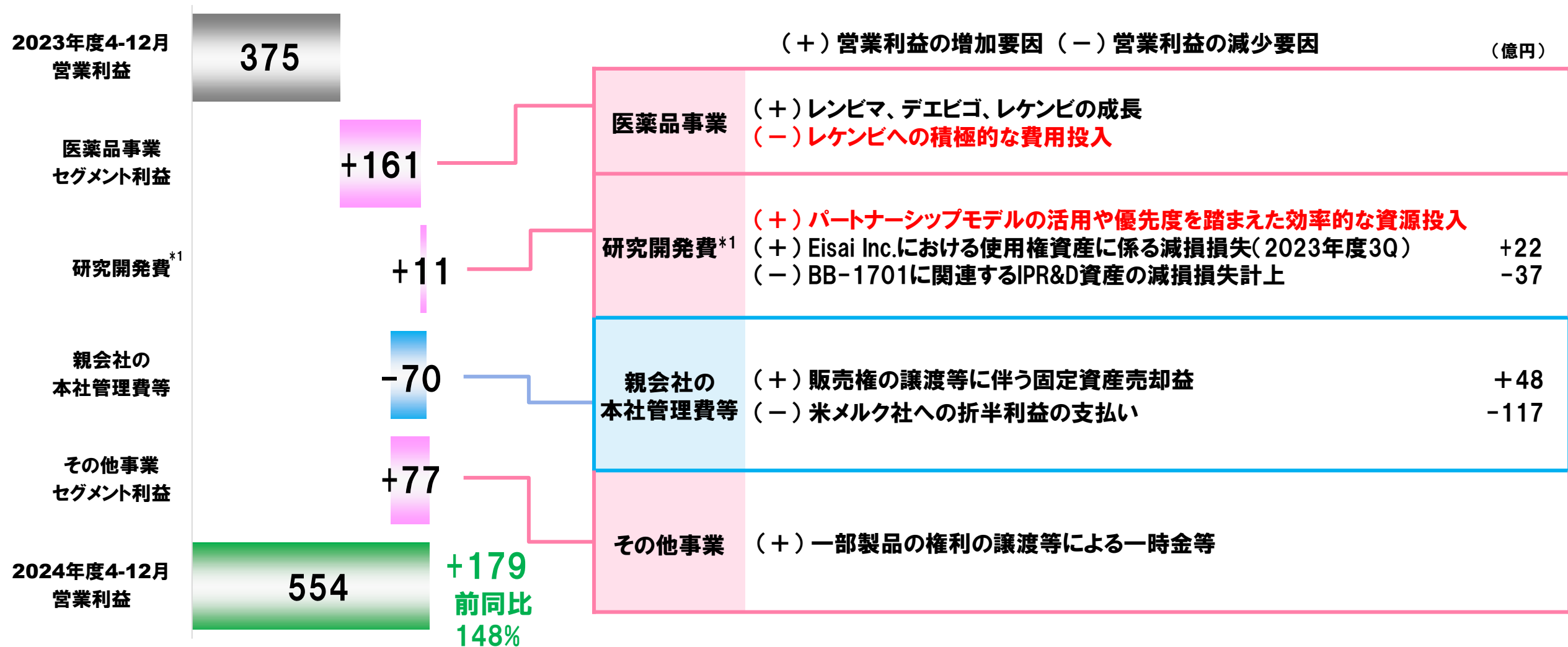
3L: LENVIMA、DAYVIGO(Lemborexant)、LEQEMBIの成長が大きくけん引



*1 ヒュミラは、2023年6月にアツヴィ合同会社との日本での開発および販売契約満了

営業利益の増減要因分析

レケンビへの積極的な成長投資を継続も2桁増益を確保



数値は概数

2024年度より、経営の実態をより適切に表示するため、従来、研究開発費に含めていた各報告セグメントにおけるメディカル活動に伴う費用を各セグメントの利益に反映している。前年度のセグメント情報は、当該変更を反映している。

*1 研究開発費は、各報告セグメントに反映したメディカル活動に伴う費用を除いた研究開発費

2. ビジネスアップデート

(1) レケンビ グローバルビジネスアップデート

レケンビ グローバルビジネスの状況

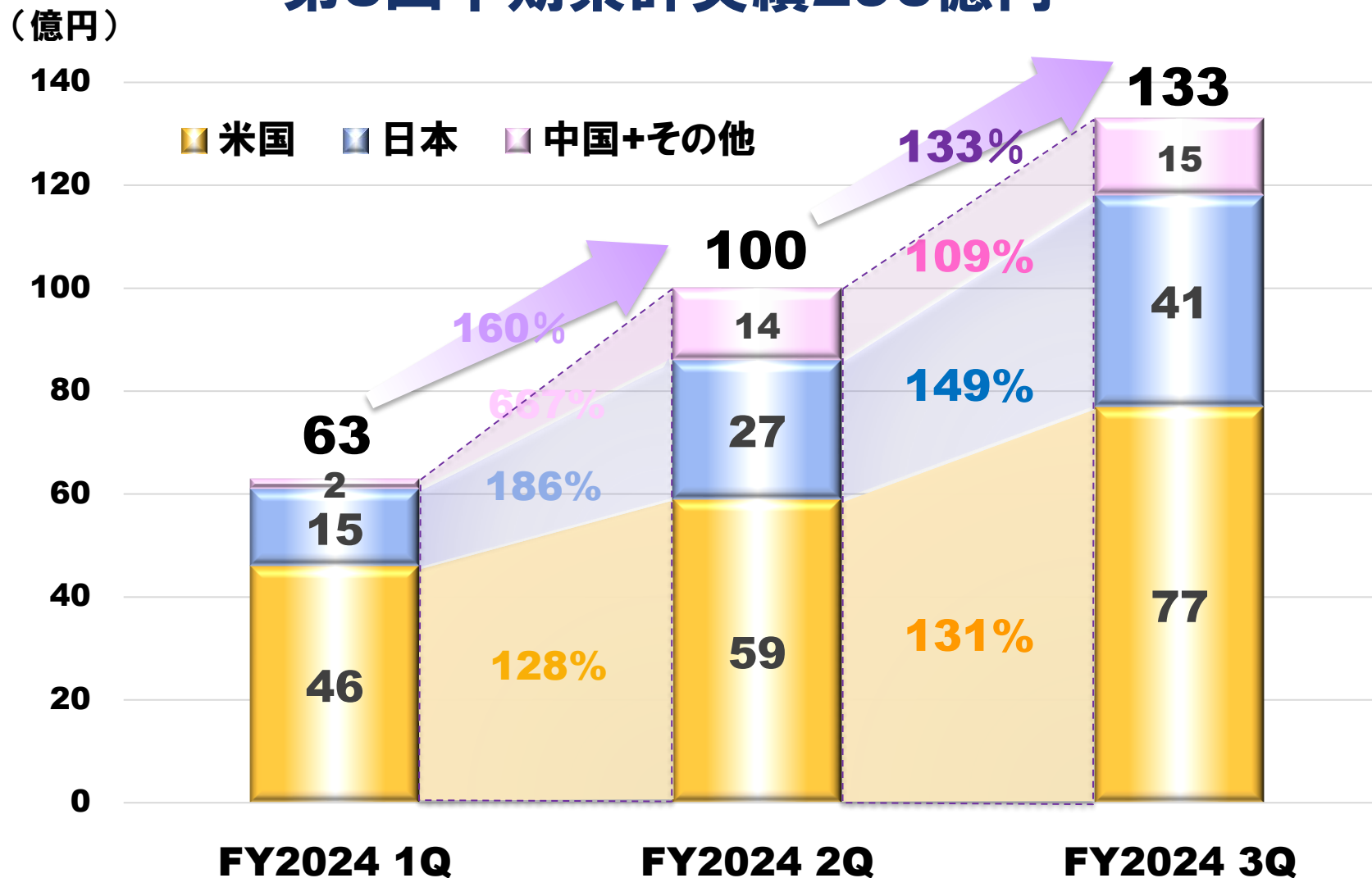
- **米国**:インフュージョンキャパシティ含むパスウェイ構築が進展し、
それに対応した実績の確実な進捗を確認、年度目標達成に向け自信を深める
- **日本**:医療機関の診療連携が進展し、引き続き計画を上回るパフォーマンスを確認
- **中国**:セルフペイマーケットにおいて確実に進展し、
医療機関への納入数において堅実な伸びを確認
- **グローバルの年度実績は達成の見通し**
- **SC-AI^{*1}やBBM^{*2}等、将来的な重要イベントに向けた進捗も順調**

レケンビの成長拡大期へ移行

a) グローバル・リージョン パフォーマンス

グローバル レケンビ 売上実績

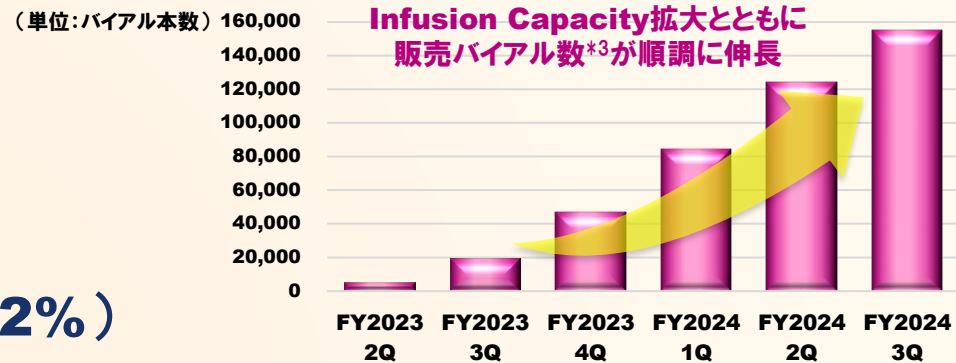
第3四半期累計実績296億円



2024年度売上見通し425億円達成に向けて着実に成長

レケンビパスウェイの充足・拡大

- 上市以来の投与患者数は、**13,500人***1
- 処方医師数は、**3,000人超***1 (前四半期比*2 **120%**)で継続して増加
- 発注医療機関数は、**約1,200機関***1 (前四半期比*2 **112%**)



パスウェイのさらなる拡充へ

- **Aβ PET 検査数が増大**(前四半期比*4 **145%**)、レケンビ投与候補者数の受け入れ能力が拡大
 - 2023年10月:CMS*5により生涯1回の償還上限回数撤廃とADへのAβテストの償還適応
 - CMSのHOPPS*6改訂:2024年11月、院内PET測定における保険償還額の上限撤廃に関して公布、2025年1月より開始され、今後院内Aβ PET測定がさらに促進
- **BBM*7のプレスクリーニング使用が増加**、Aβ検査の陽性率が向上しパスウェイの効率性が向上
- **Infusion Capacityは順調に拡大**
 - 4Qにおいて更なるInfusion Capacityの拡大に目途
- **4週に1回投与の維持投与への移行が可能となり**、レケンビの導入は一層加速
- **PCP*8の参画によるパスウェイの進化・急拡大へ**
 - 2025年度からPCPへのアプローチを開始
 - 2026年度のBBM、SC-AI*9の社会実装に伴い、パスウェイが軽量化し進化

2024年度売上見通し265億円に向け着実な進捗

*1 2023年1月～2024年12月末の社内調査に基づく推計値 *2 FY2024第2四半期までの累計比 *3 医療機関への四半期販売バイアル数 *4 FY2024第2四半期までの累計比、社内推計による
*5 Centers for Medicare and Medicaid Services *6 Hospital Outpatient Prospective Payment System *7 Blood-based biomarker *8 Primary Care Physician *9 Subcutaneous formulation with Auto-Injector

第3四半期累計実績83億円

初期導入施設と処方医師がさらに拡大 初期導入施設とフォローアップ施設の診療連携体制の構築も加速

- 上市以来の投与患者数は、**6,800人**^{*1}
- 処方医師数は、**1,200人超**^{*1}（前四半期比^{*2} **125%**）
- 投与施設数(初期導入施設)は、**660施設**^{*1}（前四半期比^{*2} **120%**）
- **1,400施設超**が、フォローアップ施設として投与開始から**6カ月以上経過した当事者様の受け入れに同意**^{*1}
- **MCIの認知度向上を企図してDTC^{*3}を実施、早期受診行動のさらなる活性化をめざして今年も実施すべく企画中**



2024年11月に放映したTVCM画面

2024年度売上見通し120億円達成に向け順調に進捗

中国 レケンビ

第3四半期累計実績28億円

2024年6月末の上市以来、 中国のSelf-pay marketを対象に着実に成長

- 中国全土^{*1}においてレケンビ処方浸透、処方可能な医療機関が順調に拡大
- BBM^{*2}による確定診断のエビデンス(DESIREモデル^{*3})がアカデミアや医師主導コホートの研究により拡充
- デジタルプラットフォーム Yin Fa Tong^{*4}  银发通 をパスウェイに活用
利用者は約71万人、登録医師は約6,300人^{*5}に拡大

中国を含むその他地域^{*6}の2024年度売上見通し 40億円達成に向け順調に進捗

**レケンビは
年度見通し425億円達成に向けて
オールリージョンで着実に成長している**

b) レギュラトリー状況

レケンビ グローバル レギュラトリーアップデート

10カ国で承認、17カ国・地域で申請中

米国	日本	中国	韓国	UAE	香港	イスラエル
英国	メキシコ	マカオ	欧州	カナダ	オーストラリア	スイス
シンガポール	台湾	ブラジル	ロシア	サウジアラビア	インド	南アフリカ
フィリピン	タイ	ベトナム	マレーシア	インドネシア	オマーン	

赤:承認取得国

欧州における承認審査状況

- 2024年11月、CHMP*より承認勧告を受領
- EC(欧州委員会)の意思決定プロセスの一環として、CHMPに対し以下の2点に関する確認を求め、2025年2月のCHMP ミーティングにて検討予定
 - 1) 承認勧告後に入手可能となったレカネマブの安全性に関する情報に基づき承認勧告のアップデートが必要かどうか
 - 2) 承認勧告のリスク最小化策に関する記載が明確かどうか

**c) レケンビ療法的一般化・普遍化に向けての
パスウェイ軽減イベント**

治療効果を持続、点滴リソースを軽減する新たな投与方法

現在のレケンビ投与方法
2週に1回
点滴静脈注射 (IV)
Infusion Chair、
通院が必要
点滴1回で約1時間



新たな投与方法*1

4週に1回 点滴静脈注射 (IV) 維持投与

2025年1月24日 承認取得(米国)

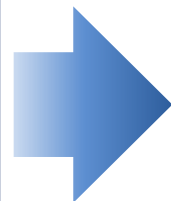
- 201試験、Clarity AD (いずれもOLE*2試験含む)データに基づくモデルシミュレーションにより承認を取得
- モデルシミュレーションにより、4週に1回の維持投与に移行することで、臨床上とバイオマーカー上のベネフィットが維持されることが示唆
- 18カ月間の初期治療後、2週に1回(10mg/kg)の投与を継続するか、4週に1回(10mg/kg)の維持投与への移行が可能
- レケンビの投与継続により、疾患の進行を遅らせ、治療効果を持続させることが可能
- 通院の手間など、患者様やケアパートナーのベネフィットに貢献
- インフュージョンに必要なリソースが低減し、インフュージョンキャパシティに貢献

*1 2025年1月24日に米国で承認取得

*2 Open Label Extension

医療従事者、患者様の負担を大幅に軽減する新剤型

現在のレケンビ投与方法
2週に1回
点滴静脈注射 (IV)
Infusion Chair、
通院が必要
点滴1回で約1時間



レケンビ皮下注 オートインジェクター (SC-AI)

- 在宅・在所投与を可能にし通院回数を最小化
- 投与時間は平均15秒に短縮、医療従事者、患者様の負担を軽減し、利便性が向上
- 治療パスウェイが軽量化し、PCP*¹参画に向け大きく寄与

SC-AI Maintenance

2025年8月31日 PDUFA Date (米国)

- レケンビ360mgを毎週投与(固定用量)
- Clarity AD 内で実施したSC Substudyなどのデータから、PK/PDモデリングを用いて申請

SC-AI Initiation

2025年度から2026年度1Qの承認取得をめざす(米国)

- より適切な用量設定を訴求
- 申請パッケージに必要なデータを順調に取得中
- SC-AI Maintenance 承認取得後速やかに追加申請

次世代確定診断技術 **BBM**^{*1} の普及

2026年度

Aβ確定検査

アミロイドPET

脳脊髄液(CSF)

BBM

プレスクリーニング
目的での使用

BBMの確定診断に向けたロードマップ

- 承認取得国において、BBMの普及に向けた**診断会社との協業を促進**
- BBMの信頼性の確立、適切な使用と採用を確実にするため各ステークホルダーへの働きかけを促進



BBM検査の**臨床ガイドライン**が、**Alzheimer's Association**より発出される予定

複数の診断会社より、**Aβ と p-Tau217** による**コンジットスコア**を用いた測定法が、確定診断に向け**IVD**^{*2}申請済あるいは準備中

米国：**IVD承認**を取得し、**CMS**^{*3}からの償還取得により臨床現場で広く使用されることを想定

Aβ確定検査

BBM
社会実装・普及

アミロイドPET

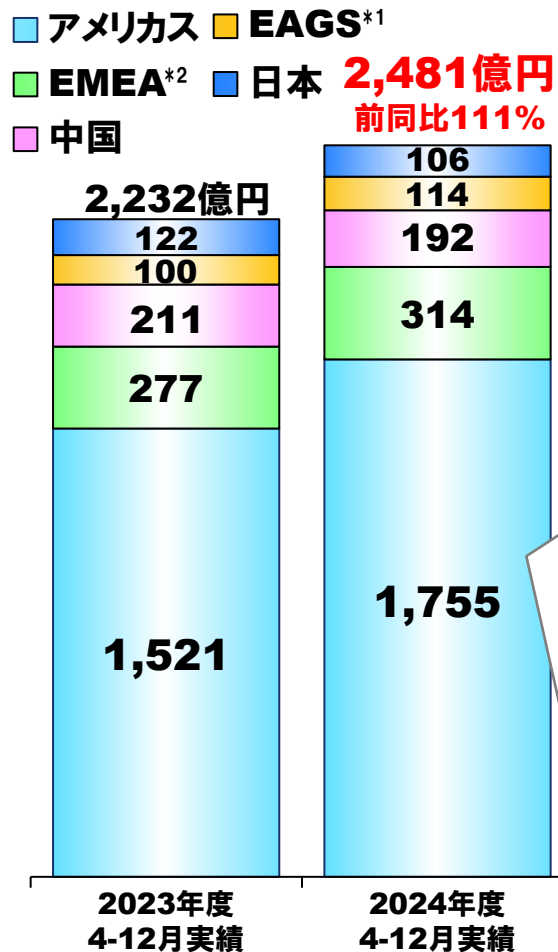
脳脊髄液(CSF)

より簡便なBBMが、2026年度に米国において、Aβ確定診断として使用され、**PCP**^{*4}による診断パスウェイへの本格参画を見込む

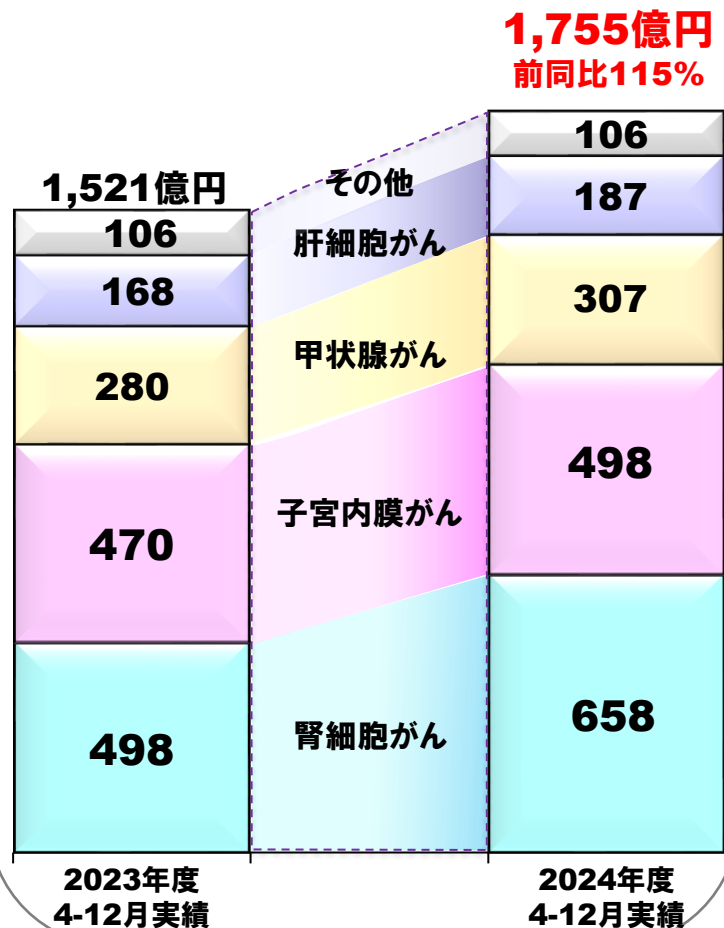
(2) オンコロジー

レンビマの継続的伸長

レンビマリージョン別
売上収益の推移（億円）



レンビマ アメリカスでの
適応別売上収益の推移*3（億円）



引き続き米国が牽引し好調な進捗

- ・ グローバル売上は米国の腎細胞がんを中心に前年同期から2桁成長
- ・ 米国における好調な進捗が、今年度4Qの米国IRA*4メディケアパートD再設計の影響を上回る見通し

レンビマのさらなる価値最大化

- ・ VEGFR*5 + FGFR*6の二重阻害による経口投与可能なマルチキナーゼ阻害剤として複数のがん種に対するバックボーンセラピーに成長
- ・ 子宮内膜がん、腎細胞がんを中心とした既存の5がん種6適応で成長



オンコロジーパイプラインの弛まぬ前進に向けた重要な薬剤としての位置づけ

*1 韓国、台湾、インド、アセアン、中南米、南アフリカ等 *2 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア *3 各適応症の売上収益は社内推計 *4 Inflation Reduction Act インフレ抑制法 *5 Vascular Endothelial Growth Factor Receptor (血管内皮細胞増殖因子受容体) *6 Fibroblast Growth Factor Receptor (線維芽細胞増殖因子受容体)

レンビマと自社創製品の併用療法

	E7386*1 CBP*2 / β -catenin阻害剤	MORAb-202 エリブリン-抗葉酸受容体 α 抗体ADC*4
先端精密有機合成技術を結集した創薬	ファーストインクラスの経口投与可能な中分子化合物	自社創製のペイロード(エリブリン)、リンカーと抗体(ファルレッズマブ)を高度なプロセスケミストリーを用いて結合したADC
高いアンメットメディカルニーズへの挑戦	Cancer's Big 4*3の1つである β -cateninとCBPのタンパク質間相互作用を標的	I-O療法*5の適応が認められていないプラチナ製剤抵抗性の難治性卵巣がんを標的
当社固有のヒューマンバイオロジーデータに基づくレンビマとの併用ロジック	<ul style="list-style-type: none"> レンビマの臨床サンプルの解析により、耐性の原因となる細胞群やパスウェイを同定 E7386はCBP / β-cateninを阻害することによりこれらレンビマ耐性の原因を抑え込む作用を発現 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">レンビマ耐性解除を期待</p>	<ul style="list-style-type: none"> エリブリンの臨床サンプルの解析により、エリブリンのがん微小環境に対する作用は、レンビマのVEGFR*6とFGFR*7の二重阻害とは異なる新規の作用であることを確認 エリブリンをペイロードとしてADCにすることにより、がん細胞周囲で効果的に作用発現 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">レンビマの抗腫瘍効果の増強を期待</p>
開発状況	102試験:子宮内膜がんを対象としたフェーズIb/II試験	201試験:プラチナ製剤抵抗性の卵巣がんを対象としたフェーズIb/II試験
承認取得時期	2030年度までの承認取得をめざす	2030年度までの承認取得をめざす

*1 株式会社PRISM BioLabとの共同創出品 *2 CREB-binding Protein *3 Undruggable drug target: β -catenin, KRAS, MYC, P53 *4 Antibody Drug Conjugate 抗体薬物複合体 *5 Immuno-Oncology療法 *6 Vascular Endothelial Growth Factor Receptor (血管内皮細胞増殖因子受容体) *7 Fibroblast Growth Factor Receptor (線維芽細胞増殖因子受容体)

2024年度 連結業績見通し (IFRS)

(億円、%)	2023年度		2024年度		
	実績	売上比	見通し	売上比	前期比
売上収益	7,418	100.0	7,540	100.0	102
売上原価	1,553	20.9	1,705	22.6	110
売上総利益	5,864	79.1	5,835	77.4	100
研究開発費	1,690	22.8	1,675	22.2	99
販売管理費	3,744	50.5	3,825	50.7	102
その他の損益	104	1.4	200	2.7	192
費用合計*1	5,330	71.9	5,300	70.3	99
営業利益	534	7.2	535	7.1	100
当期利益	438	5.9	445	5.9	102
当期利益(親会社所有者帰属)	424	5.7	430	5.7	101
EPS(円)	147.9		152.5		
ROE(%)	5.1		5.2		
DOE(%)	5.5		5.5		
配当金(円)	160		160		

配当支払いは毎年の取締役会決議を前提とする

2023年度期中平均レート

米ドル: 144.62円、ユーロ: 156.79円、英ポンド: 181.75円、人民元: 20.14円

2024年度期中平均予想レート

米ドル: 145.00円、ユーロ: 155.00円、英ポンド: 180.00円、人民元: 20.40円

*1 研究開発費 + 販売管理費 - その他の損益

参考資料

連結損益計算書



(億円、%)	2023年度		2024年度					
	4-12月実績	売上比	4-12月実績	売上比	前同比	通期見通し	前期比	進捗率
売上収益	5,513	100.0	6,012	100.0	109	7,540	102	79.7
医薬品事業 売上収益	5,281	95.8	5,691	94.7	108	7,245	105	78.5
その他事業 売上収益	232	4.2	321	5.3	138	295	59	108.8
売上原価	1,192	21.6	1,282	21.3	108	1,705	110	75.2
売上総利益	4,320	78.4	4,730	78.7	109	5,835	100	81.1
費用合計*1	3,945	71.6	4,176	69.5	106	5,300	99	78.8
研究開発費	1,245	22.6	1,253	20.8	101	1,675	99	74.8
販売管理費	2,710	49.2	3,015	50.1	111	3,825	102	78.8
その他の損益	10	0.2	92	1.5	904	200	192	46.2
営業利益	375	6.8	554	9.2	148	535	100	103.6
当期利益	308	5.6	475	7.9	154	445	102	106.6
当期利益(親会社所有者帰属)	291	5.3	455	7.6	156	430	101	105.8

2024年度第3四半期中平均レート 米ドル:152.56円(前期変動率+6.5%)、ユーロ:164.82円(同+6.1%)、英ポンド:195.43円(同+8.9%)、人民元:21.15円(同+5.9%)

*1 研究開発費+販売管理費-その他の損益

セグメント売上収益



(億円、%)	2023年度		2024年度					
	4-12月 売上収益	構成比	4-12月 売上収益	構成比	前同比	通期見通し	前期比	進捗率
医薬品事業計	5,281	95.8	5,691	94.7	108	7,245	105	78.5
日本	1,720	31.2	1,671	27.8	97	2,180	100	76.7
アメリカス	1,721	31.2	2,093	34.8	122	2,665	115	78.5
中国	864	15.7	885	14.7	103	1,090	97	81.2
EMEA	562	10.2	597	9.9	106	745	98	80.1
イーストアジア・グローバルサウス^{*1}	414	7.5	444	7.4	107	565	104	78.6
その他事業^{*2}	232	4.2	321	5.3	138	295	59	108.8
連結売上収益	5,513	100.0	6,012	100.0	109	7,540	102	79.7

外部顧客に対する売上収益を示す

*1 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス(北米)、中国、EMEA(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)、イーストアジア・グローバルサウス(韓国、台湾、インド、アセアン、中南米、南アフリカ等)の5つの事業セグメントを報告セグメントとしている。なお、アジア・ラテンアメリカ医薬品事業の管轄エリアがアジア(日本、中国を除く)、中南米、南アフリカであった状況に鑑み、2024年10月1日より、イーストアジア・グローバルサウス医薬品事業に名称変更した。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はない。

*2 親会社のライセンス収入及び医薬品原料などに係る事業

セグメント利益



(億円、%)	2023年度			2024年度			
	4-12月 セグメント利益	構成比	利益率	4-12月 セグメント利益	構成比	利益率	前同比
医薬品事業計	2,563	94.3	48.5	2,723	92.1	47.9	106
日本	587	21.6	34.1	587	19.9	35.1	100
アメリカス	1,058	38.9	61.5	1,210	41.0	57.8	114
中国	460	16.9	53.2	440	14.9	49.7	96
EMEA	269	9.9	47.9	280	9.5	46.9	104
イーストアジア・グローバルサウス	189	7.0	45.6	206	7.0	46.4	109
その他事業^{*1}	156	5.7	67.1	232	7.9	72.4	149
セグメント利益計	2,718	100.0	49.3	2,956	100.0	49.2	109
研究開発費^{*2}	-1,111	—	—	-1,100	—	—	99
親会社の本社管理費等^{*3}	-1,232	—	—	-1,302	—	—	106
連結営業利益	375	—	6.8	554	—	9.2	148

2024年度より、経営の実態をより適切に表示するため、従来、研究開発費に含めていた各報告セグメントにおけるメディカル活動に伴う費用を各セグメントの利益に反映している。前年度のセグメント情報は、当該変更を反映している。

*1 親会社のライセンス収入及び医薬品原料などに係る事業 *2 研究開発費は、各報告セグメントに反映したメディカル活動に伴う費用を除いた研究開発費

*3 パートナーとの戦略的提携に伴う利益及び費用の折半金額を含む。当社グループがMerck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAに支払う抗がん剤「レンビマ」の利益折半費用（2023年度4-12月期:1,034億円、2024年度4-12月期:1,151億円）

主要品目の売上収益



(億円、%) []内は現地通貨ベース	2023年度		2024年度					
	4-12月 実績	売上比	4-12月 実績	売上比	前同比	通期見通し	前期比	進捗率
レンビマ	2,232	100.0	2,481	100.0	111 [105]	3,045	102	81.5
日本	122	5.5	106	4.3	87 [87]	150	97	70.5
アメリカス	1,521	68.2	1,755	70.7	115 [108]	2,120	104	82.8
中国	211	9.5	192	7.8	91 [86]	240	89	80.2
EMEA	277	12.4	314	12.7	114 [107]	395	103	79.6
イーストアジア・グローバルサウス	100	4.5	114	4.6	114 [110]	140	108	81.4
レケンビ	14	100.0	296	100.0	2081 [1991]	425	999	69.5
日本	0	0.4	83	28.1	138313 [138313]	120	3428	69.2
アメリカス	14	99.0	181	61.4	1291 [1212]	265	690	68.5
中国	—	—	28	9.4	— [-]	—	—	—
デエビゴ	312	100.0	405	100.0	130 [129]	520	124	77.8
日本	266	85.5	338	83.6	127 [127]	440	124	76.9
アメリカス	38	12.2	50	12.3	131 [124]	65	126	76.4
イーストアジア・グローバルサウス	5	1.7	12	3.1	239 [227]	—	—	—
フィコンパ	197	100.0	222	100.0	113 [108]	270	104	82.1
日本	54	27.3	59	26.7	110 [110]	80	115	74.1
中国	28	14.4	32	14.3	112 [105]	35	100	90.4
EMEA	94	47.9	114	51.2	121 [114]	135	105	84.1
イーストアジア・グローバルサウス	15	7.5	15	7.0	106 [102]	20	106	77.4

日本 医薬品事業の業績



(億円、%)	2023年度		2024年度					
	4-12月 実績	売上比	4-12月 実績	売上比	前同比	通期見通し	前期比	進捗率
売上収益	1,720	100.0	1,671	100.0	97	2,180	100	76.7
医療用医薬品	1,542	89.6	1,492	89.3	97	1,955	101	76.3
デエビゴ	266	15.5	338	20.2	127	440	124	76.9
ジセレカ	96	5.6	111	6.7	115	—	—	—
レンビマ	122	7.1	106	6.3	87	150	97	70.5
レケンビ	0	0.0	83	5.0	138313	120	3428	69.2
メチコバル	74	4.3	66	4.0	89	85	90	77.8
グーフィス*	56	3.2	61	3.6	109	75	108	81.0
フィコンパ	54	3.1	59	3.5	110	80	115	74.1
モビコール*	51	3.0	59	3.5	115	70	106	84.5
ハラヴェン	61	3.6	57	3.4	93	70	88	82.0
エレンタール*	57	3.3	56	3.4	100	65	91	86.9
エクフィナ	45	2.6	49	2.9	110	70	121	70.0
一般用医薬品等	179	10.4	179	10.7	100	225	99	79.6
チョコラBBグループ	115	6.7	121	7.2	105	150	100	80.5
セグメント利益	587	34.1	587	35.1	100	—	—	—

* EAファーマの取り扱い製品

アメリカス 医薬品事業の業績



(億円、%) []内は現地通貨ベース	2023年度		2024年度					
	4-12月 実績	売上比	4-12月 実績	売上比	前同比	通期見通し	前期比	進捗率
売上収益	1,721	100.0	2,093	100.0	122 [114]	2,665	115	78.5
レンビマ	1,521	88.4	1,755	83.9	115 [108]	2,120	104	82.8
米国	1,511	—	1,735	—	115	—	—	—
百万米ドル	1,054	—	1,137	—	108	—	—	—
レケンビ	14	0.8	181	8.7	1291 [1212]	265	690	68.5
米国	14	—	181	—	1291	—	—	—
百万米ドル	10	—	119	—	1212	—	—	—
ハラヴェン	93	5.4	65	3.1	70 [66]	—	—	—
米国	90	—	63	—	70	—	—	—
百万米ドル	63	—	41	—	66	—	—	—
デエビゴ	38	2.2	50	2.4	131 [124]	65	126	76.4
米国	21	—	23	—	108	—	—	—
百万米ドル	15	—	15	—	101	—	—	—
セグメント利益	1,058	61.5	1,210	57.8	114 [108]	—	—	—

中国 医薬品事業の業績



(億円、%) [] 内は現地通貨ベース	2023年度		2024年度					
	4-12月 実績	売上比	4-12月 実績	売上比	前同比	通期見通し	前期比	進捗率
売上収益	864	100.0	885	100.0	103 [97]	1,090	97	81.2
レンビマ	211	24.5	192	21.7	91 [86]	240	89	80.2
メリスロン	102	11.8	115	13.0	113 [107]	—	—	—
メチコバル	99	11.4	97	10.9	98 [93]	—	—	—
セルベックス	54	6.2	63	7.1	117 [110]	—	—	—
アリセプト	51	5.9	58	6.6	113 [107]	—	—	—
強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン	54	6.2	57	6.5	107 [101]	—	—	—
ミオナール	47	5.5	54	6.1	114 [108]	—	—	—
フィコンパ	28	3.3	32	3.6	112 [105]	35	100	90.4
レケンビ	—	—	28	3.1	— [—]	—	—	—
パリエット	63	7.3	24	2.7	38 [36]	—	—	—
ハラヴェン	15	1.8	17	1.9	107 [101]	—	—	—
セグメント利益	460	53.2	440	49.7	96 [88]	—	—	—

EMEA 医薬品事業の業績



(億円、%) []内は現地通貨ベース	2023年度		2024年度					
	4-12月 実績	売上比	4-12月 実績	売上比	前同比	通期見通し	前期比	進捗率
売上収益	562	100.0	597	100.0	106 [100]	745	98	80.1
レンピマ/Kisplyx	277	49.3	314	52.6	114 [107]	395	103	79.6
フィコンパ	94	16.8	114	19.0	121 [114]	135	105	84.1
ハラヴェン	91	16.1	73	12.2	80 [75]	—	—	—
セグメント利益	269	47.9	280	46.9	104 [99]	—	—	—

イーストアジア・グローバルサウス 医薬品事業の業績



(億円、%) []内は現地通貨ベース	2023年度		2024年度					
	4-12月 実績	売上比	4-12月 実績	売上比	前同比	通期見通し	前期比	進捗率
売上収益	414	100.0	444	100.0	107 [104]	565	104	78.6
レンビマ	100	24.2	114	25.6	114 [110]	140	108	81.4
アリセプト	101	24.4	109	24.5	108 [105]	—	—	—
パリエット	40	9.7	34	7.6	84 [81]	—	—	—
メチコパール	33	7.9	32	7.2	99 [95]	—	—	—
ハラヴェン	27	6.5	28	6.3	104 [101]	—	—	—
フィコンパ	15	3.5	15	3.5	106 [102]	20	106	77.4
セグメント利益	189	45.6	206	46.4	109 [105]	—	—	—

Strong Balance Sheetによる成長投資と安定配当の両立



	2024年12月末	前期末差
Net cash ^{*1}	944億円	-743億円
Net DER ^{*2} (倍)	-0.11	+0.08
株主資本(親会社持分)	8,734億円	-23億円
親会社所有者帰属持分比率 (自己資本比率)	61.0%	-1.9%

最適資本構成の
KPIを堅持
Net DER
-0.3 ~ +0.3
親会社所有者帰属持分比率
60%レベル



財務の健全性に基づき、成長投資と安定配当を堅持
レケンビを軸とする成長の中で、中長期的な株主価値の最大化をめざす

配当支払いは毎年の取締役会決議を前提とする

*1 Net cash=現金・有価証券(現金及び現金同等物+3カ月超預金等+親会社保有投資有価証券)-有利子負債(社債及び借入金)

*2 Net DER: Net Debt Equity Ratio=(有利子負債(借入金)-現金及び現金同等物-3カ月超預金等-親会社保有投資有価証券)÷親会社の所有者に帰属する持分

ADのPatient Journeyを支えるパイプライン

ATN(I)*1 包括的ADパイプライン		適応症	ClinicalTrials.gov ID	非臨床	フェーズ I	フェーズ II	フェーズ III	申請	承認・上市
A	Lecanemab*2 (抗Aβ*3プロトフィブリル抗体)	早期AD (米国)		2023年7月 フル承認・上市					
		早期AD (日本)		2023年9月 承認 2023年12月 上市					
		早期AD (中国)		2024年1月 承認 2024年6月 上市					
		早期AD (欧州)	NCT03887455	2023年1月 承認申請 (MAA*4)					
		プレクリニカルAD*5	NCT04468659	AHEAD 3-45 (フェーズ III) 進行中 LPI達成					
		IV 維持療法		2025年1月 承認・上市					
		SC-AI*6 維持療法	NCT03887455	2024年10月 段階的申請終了 (BLA) PDUFA 2025年8月					
T	E2814*7 (抗MTBR*8タウ抗体)	Tau NexGen*9 DIAD*10対象 Lecanemabとの併用レジメン	NCT05269394	フェーズII/III 進行中					
		103試験 DIAD対象	NCT04971733	フェーズ I b / II 進行中					
		202試験 sAD*11対象 Lecanemabとの併用レジメン	NCT06602258	フェーズII 進行中					
N	E2511 (TrkA*12統合シナプス再生剤)	AD	NCT05147337	フェーズ I (MAD*13) 進行中					
		E2025 (抗EphA4*14抗体)	AD	NCT05726851	フェーズ I 進行中				
(I)		TREM2*15機能調整 認知症神経免疫調整剤	AD	[Progression bar]					
		CD33モジュレーター*16	AD	[Progression bar]					

*1 ATN (I) : Amyloid, Tau, Neurodegeneration, (Neuro-Inflammation) *2 バイオジェンとの共同開発品でバイオアーケティックとエーザイの共同研究から得られたアルツハイマー病に対する抗体。製品名レケンビ。 *3 アミロイドベータ
 *4 Marketing Authorization Application *5 ACTC (Alzheimer's Clinical Trials Consortium)と実施 *6 SC-AI: Subcutaneous formulation with auto injector (皮下注 オートインジェクター) *7 英国のユニバーシティ カレッジ ロンドンとの共同研究
 *8 Microtubule binding region 微小管結合領域 *9 優性遺伝アルツハイマーネットワーク試験ユニット (DIAN-TU)が実施するDIADに対する臨床試験 *10 DIAD: Dominantly inherited Alzheimer's disease 優性遺伝アルツハイマー病
 *11 sporadic AD (孤発性AD) *12 tropomyosin receptor kinase *13 A Multiple Ascending Dose 反復投与試験 *14 Erythropoietin-producing hepatocellular receptor A4
 *15 Triggering receptor expressed on myeloid cells 2 *16 Siglec(シアル酸結合Igスーパーファミリーレクチン)ファミリーの膜糖タンパク質

オンコロジー領域のパイプライン

2024年11月以降の進捗

オンコロジー領域 パイプライン			ClinicalTrial.gov ID	非臨床試験	フェーズ I	フェーズ II	フェーズ III	申請	承認・上市
レンビマ	キイトルーダ®との併用	肝細胞がん 1L TACE*1併用 LEAP-012試験	NCT04246177	LPI*2達成					
		食道がん 1L LEAP-014試験	NCT04949256						
		胃がん 1L LEAP-015試験	NCT04662710	LPI*2達成					
MORAb-202/FZEC*3 ADC*4	非小細胞肺癌	NCT05577715							
	卵巣がん、腹膜がん、卵管がん	NCT05613088							
	固形がん	NCT04300556	フェーズ I / II 試験						
E7386*5 CBP/βカテニン阻害剤	固形がん キイトルーダ®との併用	NCT05091346	フェーズ I b / II 試験						
	固形がん レンビマとの併用	NCT04008797	フェーズ I b / II 試験						
	固形がん	NCT03833700							
E7090(タスフィゴ) FGFR1,2,3阻害剤	胆道がん	NCT04238715	承認・上市(日本)						
	乳がん	NCT04572295	フェーズ I b						
H3B-6545 ERα阻害剤	乳がん	NCT03250676	フェーズ I / II 試験						
E7389-LF リポソーム製剤	固形がん	NCT03207672							
	固形がん ニボルマブとの併用*6	NCT04078295	フェーズ I b / II 試験						
E7130*7 次世代がん微小環境改善薬	固形がん	NCT03444701							
E7766 STING作動薬	固形がん	NCT04144140	フェーズ I b						
スプライシングモジュレーター	固形がん								
標的タンパク質分解誘導剤	固形がん								

BB-1701については、今後のグローバル開発、販促をBliss Biopharmaceutical Co., Ltd.が単独で実施することに合意し、戦略的提携に向けたオプション権を行使しないことを決定したため本表から削除

キイトルーダ®はMerck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAの子会社であるMerck Sharp & Dohme Corpの登録商標。キイトルーダ®との併用療法: Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAの子会社であるMSD International GmbHとの提携による臨床試験に基づき適応取得をめざす。1L:ファーストライン *1 Transcatheter Arterial Chemo-Embolization *2 Last Patient In *3 一般名: farletuzumab ecteribulin *4 Antibody Drug Conjugate 抗体薬物複合体 *5 株式会社PRISM BioLabとの共同創出品 *6 小野薬品工業株式会社との共同開発 *7 ハーバード大学との共同創出品

将来見通しに関する注意事項

- 本資料中の目標数値はあくまで中期的戦略、めざす方向性、ビジョン等を示すものであり正式な業績予想ではありません。正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく年次決算短信での開示をご参照ください。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基くものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 当社の連結財務諸表は国際会計基準(IFRS)にて開示しています。